

改善された国民年金の月額

給付の種類		現行額	改正後
拠出年金	老齢年金	5年年金 10年年金 25年納金 40年納金	20,108円 24,741 39,225 62,766
	障害年金	1級 2級	49,791 39,833
	母子・準母子年金	子らが1人のとき 母子加算の創設	39,833 0
	遺児年金	1人のとき	39,833
福祉年金	老齢福祉年金	明治44年4月1日以前の出生者	20,000
	障害福祉年金	1級 2級	30,000 20,000
	母子・準母子福祉年金	子らが1人のとき	26,000

備考 1. 改正後の5年年金は、7月から21,600円に、8月から22,600円になります。2. 母子加算の創設は、8月からです。

国民年金には、いま全国で二、七八〇万人（西原町では三、三九〇人が加入し、五六九万人（西原町では五五一人）が年金を受けています。この国民年金に加入する人は、農林漁業、商工業やサービスなどの自営業者・五人未満の事業所の従業員と、それらの家族です。

この国に住む国民で、これらの職域にいる人や家族は、厚生年金保険や共済組合などの被用者年金制度に入らないときは、二十歳から六十歳までの間、必ず加入しなければなりません。また、サラリーマンの奥さんなどは、希望して任意に加入することができます。

国民年金には、老齢年金、障害年金、母子年金、准母子年金、遺児年金、寡婦年金の七種類があります。

これらの年金は、物価に応じて改正する仕組みになっていますので、将来目減りすることがあります。

国民年金の保険料は、定額で一ヵ月三、七七〇円です。保険料を納めることができます。

国民年金は、みなさんのための制度です。みんなの力でさらに大きく育てましょう。

私たちと国民年金



発行所
西原町役場
西原町字嘉手丸112番地
電話(0989)5-4533
印刷
印刷センター大永
電話(0988)67-5111~3

町の世帯・人口
(昭和55年10月末現在)
世帯数 4,035世帯
人口 16,458人
男女 8,419人
8,039人
9月末の人口移動
出生 26人 死亡 4人
転入 95人 転出 76人
婚姻 7件 離婚 2件

保険料は忘れずに

Aさんは、ある日の深夜、国道でトラックにはねられ、片足を失いました。さっそく、国民年金の障害年金の支給を申請しましたが却下されました。

それは、一年前に加入したAさんが、保険料を二ヵ月滞納していました。そのため、事故日の月前に一番近い基準月（一月、四月、七月、十月）の前月までの、保険料を完納しないなかつたためでした。十月は、国民年金の保険料を納めていたのか、どうかの区切りをつける納期の一つです。

あなたに、こんな不幸事が訪れないよう、保険料の納め忘れがないかを確かめましょう。

フォートニユース



▲十一月十八日、献血の輪を広げようと計五十九名の献血者が町役場庁舎前広場で行われた。町役場職員（三十二名）のほか、町農協職員（十一名）、一般町民（十六名）などが献血に協力した。その日、体重、血圧、血液型、血液比重などの測定があり、その他健康状態の良好な方々が沖縄県赤十字血液センターの献血車の中で一人当たり二百ミリリットルの献血を行った。



▲町老人クラブ連合会（与那城有正会長）主催の第一回輪投げ大会が十一月二一日午前、町社会福祉センターで行われにぎわった。直径十五センチのビニール製の輪を入れるゲーム。七六人（十三単位クラブ）が参加。優勝一区、準優勝十三区、三位六区（団体）。優勝十人（個人）。

勝・大城八重子、準優勝・玉那覇三郎、三位・新川仁助（個人）。

改正されました 国民年金が

善された給付額は、拠出年金では七月に、福祉年金では八月に、それぞれさかのぼって支給されます。国民年金についてのくわしいことは、町国民年金係にお問い合わせ下さい。

住民の多くの方が加入している国民年金は、こんどの国会で上記の表通り改正されました。改

善された給付額は、拠出年金では七月に、福祉年金では八月に、それぞれさかのぼって支給されます。国民年金についてのくわしいことは、町国民年金係にお問い合わせ下さい。

宮平会長は、「有効に役立ていきたい」とお話を述べた。

▲ハワイ移住八十周年記念事業の一環として沖縄県市町村会の招待で、本町にもハワイ三世・マイコル・呉屋和雄さん（二五才）が訪れる。宮平町長との懇談をはじめ、町内各地を視察。十月七日から十月にかけて四日間、本町小波津六九番地・小波津武さん宅に滞在し祖父の古里にしはらをじかに見た。

「私たちは町出身者として先人から有形無形の立派な遺産を受け継ぎ、それを誇りとしています。」とのこと。（写真）十月八日、マイコルさんから町長に記念品を贈



第3回 西原まつりにぎわう



各種
催し



▶ 「かあちゃん、見ておくれよ。僕は頑張るぞ」
子どもエイサー

▶ 「私の声きれいでしょう。」
子どもど自慢大会佼遅くまでにぎわう。

▶ 町歌・町音頭の発表を記念して一コマ。

▶ 歌やカチャーシーの審査、なごやかな雰囲気で行われる。

▶ 「かあちゃん、見ておくれよ。僕は頑張るぞ」
子どもエイサー

▶ 「私の声きれいでしょう。」
子どもど自慢大会佼遅くまでにぎわう。

▶ 町歌・町音頭の発表を記念して一コマ。

▶ 歌やカチャーシーの審査、なごやかな雰囲気で行われる。

▶ 「青年会も頑張るぞ!!」
勇莊に踊る内間青年会のエイサー好評を博す。観衆がグラウンドいっぱいに取り組む。

▶ 農産物・農産加工品・写真・児童生徒の作品・老人クラブの作品・花卉園芸品などが展示された西原中体育館内会場の全景。

▶ まつりのフィナーレを飾る町民が飛入りで踊るカチャーシー。

▶ 若い頃からならした踊りを披露、カチャーシー大会。



西原ライオンズクラブ結成

社会奉仕を目的とする西原ライ

オンズクラブの結成大会が十一月

十一日午後三時、中央公民館で開

係者約八十人を集めて行われた。

今回提出された議案は、審議の

結果すべて原案通り採択された。

西原ライオンズクラブの会長には

安次富長栄氏が選ばれ、会員二十

九人でスタートした。

同クラブの目的は①世界の人々

の間に相互理解の精神を培い、発

展させる②地域社会の生活、文化化、福祉及び公徳心の向上に積極的関心を示すなどとなっており月に二回定例会を開く。

尚、この日決った役員は次の通り。

【会長】 安次富長栄 【第一副会長】 渡慶次道典 【第二副会長】 新垣忠雄 【第三副会長】 稲数辰雄 【幹事】 小橋川健吉 【会計】 与儀幸一郎 【会員】 小川孝、大城善勝、宮城延正、小橋川盛一、新川康吉、城間盛光、川田幸吉、嘉数松一、新城信勝、森田勉、阿波連本松、山城盛繁、与那嶺茂、仲宗根俊雄、新垣清治、与那城博司、新垣勇、城間三郎、浦崎勝、福治義和、知念良光、長山豊安、知念正勝

昔、西原間切桃原村に義留という賢い若者がいた。義留は親孝行者で、また村でも評判の働き者でした。その働きぶりを買われて、首里の幸地殿地に奉公することになった。義留は常に天下や国政のことを論じるのを好んだ。

ある日、主人の髪を結いながら立身出世ができるのか」と聞いた。主人が冷笑して「きみが如きた。主人がいかに努力勉励しても、一平民がいかに努力勉励しても、地頭代くらいが関の山だ。」と答えた。義留は地頭代くらいになるよりも大盗賊となつて名を後世に残したほうがよいと考え、直ちに奉公をやめて村に帰った。

樹木がうつそうと生い茂る運玉森の中で半年間、独力で空手の修業に励んだ。その後、運玉森を根城にして盗賊となつて、時の琉球王府をてこずらせた。義留は金持ちから金品を盗み、これを貪乏人に分け与えていたので、貧民か

らは義賊として崇められていた。ある時、義留の所へ読谷山間切の若者が、彼の噂を聞いて、弟子入りに来た。義留は彼の智恵を試そうと思い、彼に油を盗んでくるよう命じた。読谷山の若者は瓶に綿を入れて油屋へ行き油を入れさせた後、いろいろ文句をいい油を綿にしみこませて、後にこれを元の道具に移し、三・四軒同じ手段を用いて所要の油を盗み取ることに成功した。それ以来、彼は

油喰坊主と呼ばれた。

ある日、二人は首里城に忍び込み、王様の金の枕を盗もうとしたが、失敗して、追手にリンクソングムイまで追いつめられた。義留は池の中に身を沈め竹の筒で息をしていた。追手の中に槍つかいの名人槍義保という武士がいた。彼が遇然にも池の中に槍を突いてみると槍の先に血がついていた。運玉義留最期の地は運玉森のふもとにあるリンクソングムイだといわれている。

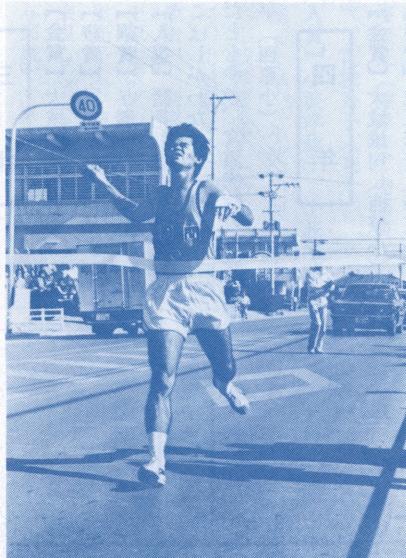
西原の民話

(6)

運玉義留伝説

らは義賊として崇められていた。

ある時、義留の所へ読谷山間切の若者が、彼の噂を聞いて、



▲ 1時間58分2秒(大会新)でテープを切る内間チームアンカーの与喜一選手、9年連続優勝達成。

昭和五六年度

沖縄海員学校生徒募集要項

願書受付期間 昭和56年1月7日から昭和56年2月7日まで

入学試験日 昭和56年2月15日

試験科目 国語、数学、英語

(中学校卒業程度)

試験地 石川市ほか四ヶ所

受験料 不要

詳細については、本校教務課

(○九八九六一四一五九五)

にお問い合わせ下さい。

駅伝を通してスポーツ振興を図り、青年同士の团结融和を深めることによりシマ興しをやろうと町青年団体連絡協議会(与那嶺義雄会長)主催の第十六回町青年駅伝大会が十一月二十三日、町役場広場で行われた。

秋晴の絶好のコンディションに恵れ正后、号砲一発で町役場前から参加十八チームの選手が一齊にスタートした。コースはコザ高校前折り返し三〇・二キロ六区間。一区間からトップに立った内間チームが終始独走態勢で他チームを寄せつけず一時間五八分二秒の大会新記録を樹立し九連勝に輝いた。六つの区間で五つの区間賞もたれた。

前折り返し三〇・二キロ六区間。尚、町青年会では大会の優勝旗がなく困っていたが、青年会活動とスポーツ振興に理解を示して下された嶺設備(代表者・与那嶺幸栄)から新調の優勝旗が贈られた。その意に報いようと開会式で町青年会・町体協連名の感謝状が与那嶺幸栄さんに手渡され各チームの選手団など一同の拍手を受けた。

内間大会新で九連勝

過去三年間は、駅伝実行委員会や町体協などの主催で行われてきたが四年振りに本来の町青年会主催で行われ、名実ともに本来の姿をとりもどし今後益々町青年会の活躍に期待が寄せられている。

尚、町青年会では大会の優勝旗

内間大会新で九連勝

過去三年間は、駅伝実行委員会や町体協などの主催で行われてきたが四年振りに本来の町青年会主催で行われ、名実ともに本来の姿をとりもどし今後益々町青年会の活躍に期待が寄せられている。

尚、町青年会では大会の優勝旗

第16回町駅伝大会のチーム成績

順位	1区	2区	3区	4区	5区	6区	記録
①	7区間						① 1時間58分2秒
②	16区						② 2 " 11 " 13 "
③	13区						③ 2 " 11 " 14 "
④	東部消防 (オブザーバー)						④ 2 " 12 " 48 "
⑤	3区						⑤ 2 " 15 " 26 "
⑥	6区B						⑥ 2 " 15 " 50 "
⑦	6区C						⑦ 2 " 20 " 44 "
⑧	2区						⑧ 2 " 22 " 50 "
⑨	11区						⑨ 2 " 23 " 24 "
⑩	8区A						⑩ 2 " 23 " 30 "
⑪	6区A						⑪ 2 " 24 " 54 "
⑫	8区B						⑫ 2 " 27 " 24 "
⑬	9区						⑬ 2 " 27 " 29 "
⑭	7区橋川						⑭ 2 " 28 " 17 "
⑮	1区						⑮ 2 " 33 " 28 "
⑯	7区津花波						⑯ 2 " 33 " 41 "
⑰	4区						⑰ 2 " 39 " 47 "
⑱	12区						

第16回町駅伝大会の区間記録

区間	選手名	チーム	記録
1区	大城 豊	7区 内間	26分 0秒
2区	大城 浩		19ク 0ク (区間新)
3区	新垣 勝		14ク 51ク
4区	城間 良信		20ク 22ク
5区	新川 善紀	13区	13ク 40ク
6区	与儀 善一	7区 内間	22ク 57ク



第一回

町童話お話をかわう

すでに覚え込んだ童話を人前で発表するが、審査は態度、内容音声の三項目で採点された。審査員には浜川君代、喜納裕子(以上西原小)、内間芳子、玉城俊子(上坂田小)、西原中の五名の先生方が当たった。

低学年(1~3年生)と高学年(4~6年生)の二部門でその覇を贈呈。尚、優秀者及び演題は次の通り

◎うえまたかゆき(西原小一年)
「かぼちやのつる」
◎新川明子(西原小三年)
「まひるがおのく小さな海」
◎宮良賢詠(坂田小五年)
「かあちゃんとぼく」
◎喜屋武知美(西原小四年)
「かほちゃんこぼく」
◎喜屋武知美(西原小四年)
「かほちゃんこぼく」

第一回町お話をかわう大会が、十一月十日午後二時から中央公民館で行われた。中学生の部も二名がコザ地区へ派遣されることになった。尚、優秀者及び演題は次の通り

第一回町お話をかわう大会が、十一月十日午後二時から中央公民館で行われた。中学生の部も二名がコザ地区へ派遣されることになった。尚、優秀者及び演題は次の通り

第一回町お話をかわう大会が、十一月十日午後二時から中央公民館で行われた。中学生の部も二名がコザ地区へ派遣されることになった。尚、優秀者及び演題は次の通り

ご存じですか

「移動禁止植物」

が競われ、各部門とも二名ずつが優秀と認められ、十二月二十一日に北中城村で行われるコザ地区大会へ派遣されることになった。

また、同協議会主催の中学生の大会へ派遣されることになった。

第一回町お話をかわう大会が、十一月十日午後二時から中央公民館で行われた。中学生の部も二名がコザ地区へ派遣されることになった。尚、優秀者及び演題は次の通り



第一回町お話をかわう大会が、十一月十日午後二時から中央公民館で行われた。中学生の部も二名がコザ地区へ派遣されることになった。尚、優秀者及び演題は次の通り

第一回町お話をかわう大会が、十一月十日午後二時から中央公民館で行われた。中学生の部も二名がコザ地区へ派遣されることになった。尚、優秀者及び演題は次の通り

第一回町お話をかわう大会が、十一月十日午後二時から中央公民館で行われた。中学生の部も二名がコザ地区へ派遣されることになった。尚、優秀者及び演題は次の通り

第一回町お話をかわう大会が、十一月十日午後二時から中央公民館で行われた。中学生の部も二名がコザ地区へ派遣されることになった。尚、優秀者及び演題は次の通り

が競われ、各部門とも二名ずつが優秀と認められ、十二月二十一日に北中城村で行われるコザ地区大会へ派遣されることになった。

◎波照間永樹(西原中二年)

「宿題」

「持続性」

「身の周りに関心を」